



多治見市政記者クラブ・恵那記者会同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和7年10月7日（火）岐阜県発表資料			
所 属	担 当 課	担 当 者	電 話 番 号
恵那県事務所	環境課	伊藤	代表 0573-26-1111（内線 215） FAX 0573-25-7129 時間外:0573-26-1114

本日、取材は19時30分までをお願いします。

恵那市武並町地内における土壤汚染について（第1報）

東海旅客鉄道株式会社が、中央新幹線日吉トンネル（武並工区）の本線トンネル掘削工事に伴い発生した土壌を調査したところ、土壌汚染対策法に規定する土壌溶出量基準を超える「ヒ素」が検出されたため、本日（10月7日）、同社から恵那県事務所に報告がありました。

汚染原因は現在のところ不明ですが、周辺地下水調査等を実施します。

1 報告内容

（1）土壌調査地点

恵那市武並町地内

（2）調査結果の概要

【土壌溶出量調査】

項目	調査 検体数	基準超過 検体数	調査結果	土壌溶出量基準	基準 超過倍率
ヒ素	1	1	0.014mg/L	0.01 mg/L 以下	1.4 倍

※トンネル坑口から名古屋方面へ約5mの地点。

※ヒ素以外の有害物質7項目についても調査を実施していますが、基準超過はありません。

2 汚染の原因

自然由来による可能性が高いと考えられますが、現時点では不明です。

なお、周辺地域には、ヒ素を原料等に使用する工場・事業場はありません。

3 今後の対応

（1）地下水調査について

今後も工事の延伸に伴い、基準値を超えてヒ素が検出される可能性があるため、県は、瑞浪市及び恵那市と連携して、基準超過地点から掘削方向（名古屋方面）に900mの区間において、「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、半径250mの範囲内で井戸水の利用状況調査及び水質検査を実施します。

（2）地域住民への情報提供について

井戸水を利用している家庭及び事業場に対しては、水質検査結果が判明するまでの間、井戸水の飲用の自粛を呼びかけます。

（3）事業者に対する指導について

汚染土壌の適正な管理等を行うよう指導します。

【ヒ素に関する説明】

「ヒ素」は、金属と非金属の両方の性質を持つ半金属元素であり、合金の添加剤（硬さを高めるため）、半導体の原料、ガラスの消泡剤や脱色剤、花火の着火剤、塗料用の顔料、木材の防腐剤等に使用されています。

また、地殻の表層部には重量比で 0.0005%存在し、水中や土壌中、岩石、大気中に広く存在しています。

ヒ素に汚染された井戸水の飲用による慢性の中毒症状としては、皮膚の角質化や色素沈着等が報告されています。

参考：化学物質ファクトシート-2012 年版-（環境省）

【土壌溶出量基準】

土壌に含まれる有害物質を、地下水等を経由して摂取することによるリスクを想定して設定した基準。